

様式 3

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部 ・学科等 の名称	専任教員数							非常 勤教 員	専任教員 一人あた りの在籍 学生数	備考	
	教授	准教 授	講師	助教	計	基準 数	うち 理学 療法 士又 は作 業療 法士 数				助手
総合リハ ビリテー ション学 部リハビ リテーシ ョン学科 作業療法 学専攻	3人	2人	3人	0人	8人	6人	7人	0人	4人	21.4人	
計	3人	2人	3人	0人	8人	6人	7人	0人	4人	—	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】 養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	アカデミックリテラシー	15	西来路 文朗	専任
			15	吉村 朋代	専任
			15	橋本 学	専任
		チュートリアル	15	大井 博司	専任
			15	小澤 恭子	専任
			15	山路 博文	専任
			15	國貞 将志	専任
			15	叢 麗	専任
			15	平澤 玲	専任
			15	舟木 優佳	専任
			15	田尻 佑喜	専任

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	専門職連携基礎演習Ⅰ	15	松尾龍人・山本めぐみ・中原正子・徳毛悠真・吉川孝次・松浦晃宏・國貞将志・佐々木伸・平井智子・瀬川洋・榎木宏之・原田雅嗣・伊藤啓介・長嶺憲太郎・中村亜紀・笹川紀夫・金谷孝之・服部建大・アンドレアスシェラー・光盛友美・飯野矢佳代・吉兼伸子・山田智子・中村百合子・廣川聖子・南英輝・神垣真由美・高倉英樹・松田明・岡本典子	専任
		専門職連携基礎演習Ⅱ	15	林慎一郎・太田雪乃・武藏健裕・松田美和・西大樹・平山孝子・小西玲依・森永浩介・佐藤良樹・瀬川洋・赤井俊幸・石原茂和・伊藤啓介・岡村友理香・近藤寛子・金谷孝之・服部建大・渡邊春美・アンドレアスシェラー・寺重隆視・飯野矢佳代・岡本亜耶子・戸部郁代・西来路文朗・兒玉安史・笠岡敏・神垣真由美・田山剛崇・阿部和希	専任

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	地域創生と危機管理	15	鶴田 一郎	専任
			15	村上 智章	専任
			15	井山 慶信	専任
			15	橋本 清勇	専任
			15	岡田 大爾	専任
			15	吉川 孝次	専任
			15	佐々木 広一	専任
		情報リテラシー	15	糸川 裕子	専任
			15	井山 慶信	専任
			15	間島 利也	専任
			15	島田 文彦	専任
			15	園田 幸治	専任
			15	山本 めぐみ	専任
			15	大西 巖	専任
		データサイエンス I	15	間島 利也	専任
			15	大西 巖	専任
			15	島田 文彦	専任
			15	園田 幸治	専任
			15	糸川 裕子	専任
			15	井山 慶信	専任
		英語コミュニケーション I	15	ドナルド チェリー	専任
			15	下西 真代	兼任
			15	ホーソン 寿栄	兼任
			15	遠藤 利昌	専任
			15	山中 英理子	専任
			15	吉本 和弘	兼任

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	英語コミュニケーションⅡ	15	ドナルド チェリー	専任
			15	下西 真代	兼任
			15	ホーソン 寿栄	兼任
			15	遠藤 利昌	専任
			15	山中 英理子	専任
			15	吉本 和弘	兼任
		英語リーディングⅠ	15	山中 英理子	専任
			15	山中 志保	兼任
			15	ドナルド チェリー	専任
			15	田原 光広	兼任
			15	山本 愛子	兼任
			15	平井 智子	専任
		英語リーディングⅡ	15	山中 英理子	専任
			15	山中 志保	兼任
			15	ドナルド チェリー	専任
			15	田原 光広	兼任
			15	山本 愛子	兼任
			15	平井 智子	専任
		スポーツ学	7.5	福場 良之	専任
		スポーツ実習Ⅰ	15	瀬川 洋	専任
			15	金 炫勇	専任
			15	塩川 満久	専任
			15	丸山 啓史	兼任
			15	佐伯 若夏	専任
			15	服部 宏治	専任
			15	市川 裕代	専任
			15	趙 倩穎	専任
			15	菅 輝	専任
			15	帆足 哲哉	専任
			15	高田 光代	兼任
		中国語Ⅰ	15	橋本 学	専任
		中国語Ⅱ	15	橋本 学	専任
		ドイツ語Ⅰ	15	甲田 純生	専任
		ドイツ語Ⅱ	15	甲田 純生	専任
		プログラミングⅠ	15	糸川 裕子	専任
			15	宮崎 龍二	専任

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	哲学	15	甲田 純生	専任
		文学	15	田野 慎二	専任
		心理学	15	鶴田 一郎	専任
		芸術学	15	原田 雅嗣	専任
		文化人類学	15	村上 智章	専任
		法学	15	吉村 朋代	専任
		経済学	15	山下 智佳	兼任
		歴史学	15	橋本 学	専任
		政治学	15	村上 智章	専任
		統計学	15	間島 利也	専任
		数学基礎	15	吉野 浩生	専任
		数学	15	吉野 浩生	専任
		物理学	15	吉野 浩生	専任
		化学	15	上田 純也	専任
		生物学	15	清水 良	専任
		科学実験 a	15	吉野 浩生	専任
			15	清水 良	専任
		科学実験 b	15	林 慎一郎	専任
			15	井山 慶信	専任
			15	上田 純也	専任
			15	岡田 大爾	専任
		日本語表現法	15	田野 慎二	専任
		コミュニケーション論	15	杉本 巧	専任
		Reading & Writing	15	下西 真代	兼任
			15	平井 智子	専任
		英語プレゼンテーション	15	ドナルド チェリー	専任
		検定英語	15	山中 英理子	専任
		グローバル化と人間 a	15	原田 雅嗣	専任
		グローバル化と人間 b	15	橋本 学	専任
			15	鶴田 一郎	専任
		データサイエンスⅡ	15	糸川 裕子	専任
			15	宮崎 龍二	専任
		データサイエンスⅢ	15	糸川 裕子	専任
			15	宮崎 龍二	専任
		プログラミングⅡ	15	糸川 裕子	専任
			15	宮崎 龍二	専任

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	スポーツ実習Ⅱ	15	金 炫勇	専任
			15	瀬川 洋	専任
			15	足立 達也	専任
			15	服部 宏治	専任
			15	菅 輝	専任
			15	塩川 満久	専任
			15	佐伯 若夏	専任
			15	市川 裕代	専任
			15	奥田 祐子	兼任
		人間と文化 a	15	正司 強	専任
		人間と文化 b	15	橋本 学	専任
		人間と社会 a	15	吉村 朋代	専任
		人間と社会 b	15	赤井 俊幸	専任
		人間と自然 a	15	清水 良	専任
		人間と自然 b	15	園田 幸治	専任
		教養ゼミ	15	吉野 浩生	専任
			15	原田 雅嗣	専任
			15	吉村 朋代	専任
			15	田野 慎二	専任
			15	鶴田 一郎	専任
			15	村上 智章	専任
			15	正司 強	専任
		日本事情 a		田野 慎二	専任
		日本事情 b		田野 慎二	専任
		日本語Ⅰ		杉本 巧	専任
		日本語Ⅱ		杉本 巧	専任

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
専門基礎 分野	保健医療福祉と リハビリテーションの理念	専門職連携総合演習Ⅰ	15	松尾龍人・清水希 功・藤本浩章・後藤 力・大井博司・森永 浩介・河村あゆみ・ 帆足哲哉・鈴木佳 奈・藪健史・田村 潤・橋村政哉・アン ドレアスシェラー・ 飯野矢佳代・杉野真 紀・野間雅衣・児玉 頼光	専任
		専門職連携総合演習Ⅱ	15	田村隆行・国分寺 晃・丹野福士・加藤 茂幸・谷口公友・安 原幸美・田尻祐喜・ 塩川満久・松木太 郎・羽山順子・山下 芳典・小西幹彦・田 川雄一・橋本清勇・ 杉本由紀子・下垣内 美貴・友安由紀子・ 吉川明良	専任
	人体の構造と機能 及び心身の発達	解剖学Ⅰ	15	山岡 薫	専任
		解剖学Ⅱ	15	里田 隆博	専任
		解剖学実習	22.5	國貞 将志	専任
			22.5	里田 隆博	専任
			22.5	隅田 寛	専任
		生理学Ⅰ	15	山岡 薫	専任
		生理学Ⅱ	15	山岡 薫	専任
		生理学実習	22.5	山岡 薫	専任
			22.5	金口 瑛典	専任
			22.5	松浦 晃宏	専任
			22.5	隅田 寛	専任
			22.5	梅原 拓也	専任
			22.5	平澤 玲	専任
22.5	大井 博司	専任			

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員		
				氏名	職名 (専任・兼任)	
専門基礎 分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	運動学	15	小澤 恭子	専任	
		運動学実習	22.5	小澤 恭子	専任	
			22.5	叢 麗	専任	
		人間発達学	15	小澤 恭子	専任	
			15	内田 茂博	専任	
			15	河村 あゆみ	専任	
	疾病と障害の 成り立ち 及び回復過程の 促進	医学概論	15	山岡 薫	専任	
			15	田尻 佑喜	専任	
		内科学Ⅰ	15	田尻 佑喜	専任	
		内科学Ⅱ	15	田尻 佑喜	専任	
		整形外科	15	住居 広士	専任	
		精神医学	15	森信 繁	専任	
		脳神経学	15	田尻 佑喜	専任	
		加齢医学	15	三森 康世	専任	
		病態生理学	15	山岡 薫	専任	
			15	茂木 定之	専任	
			15	田尻 佑喜	専任	
	保健医療福祉と リハビリテーショ ンの理念	リハビリテーション医学	15	谷口 公友	専任	
			15	山路 博文	専任	
			15	木藤 伸宏	専任	
			15	福岡 達之	専任	
		生命倫理	15	森信 繁	専任	
		発達障害学	15	小澤 恭子	専任	
		リハビリテーション心理学	15	大井 博司	専任	
	専門分野	基礎作業療法学	作業療法概論	15	山路 博文	専任
			作業療法研究法	15	小澤 恭子	専任
			作業学	15	國貞 将志	専任
作業学実習			22.5	國貞 将志	専任	
			22.5	叢 麗	専任	
作業療法理論			15	國貞 将志	専任	
作業療法管理学		作業療法管理学	15	大井 博司	専任	
			15	山路 博文	専任	

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
専門分野	作業療法評価学	作業療法評価学総論	15	小澤 恭子	専任
		神経系機能能力評価学	15	大井 博司	専任
		神経系機能能力評価学実習	22.5	大井 博司	専任
		運動系機能能力評価学	15	平澤 玲	専任
		運動系機能能力評価学実習	22.5	平澤 玲	専任
			22.5	舟木 優佳	専任
		精神・認知機能能力評価学	15	山路 博文	専任
	作業療法治療学	作業療法治療学総論	15	國貞 将志	専任
		内部障害作業療法学	15	叢 麗	専任
		内部障害作業療法学演習	15	叢 麗	専任
		脳血管障害作業療法学	15	舟木 優佳	専任
		脳血管障害作業療法学演習	15	舟木 優佳	専任
		運動器障害作業療法学	15	叢 麗	専任
		運動器障害作業療法学演習	15	叢 麗	専任
		老年期作業療法学	15	大井 博司	専任
		老年期作業療法学演習	15	大井 博司	専任
		発達障害作業療法学	15	小澤 恭子	専任
		発達障害作業療法学演習	15	小澤 恭子	専任
		精神障害作業療法学	15	山路 博文	専任
		精神障害作業療法学演習	15	山路 博文	専任
		義肢装具学概論	15	森永 浩介	専任
		日常生活活動学	15	舟木 優佳	専任
		日常生活活動学実習	22.5	舟木 優佳	専任
			22.5	平澤 玲	専任
		地域作業療法学	地域作業療法学	15	平澤 玲
	公衆衛生学		15	住居 広士	専任
	ヘルスプロモーション論		15	山路 博文	専任
	介護予防方法論		15	大井 博司	専任
	福祉住環境コーディネータ論		15	舟木 優佳	専任
	就労支援技術学		15	國貞 将志	専任

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
専門分野	臨床実習	地域リハビリテーション実習	/	大井 博司	専任
			/	小澤 恭子	専任
			/	山路 博文	専任
			/	國貞 将志	専任
			/	叢 麗	専任
			/	平澤 玲	専任
			/	舟木 優佳	専任
			/	田尻 佑喜	専任
		見学実習	/	大井 博司	専任
			/	小澤 恭子	専任
			/	山路 博文	専任
			/	國貞 将志	専任
			/	叢 麗	専任
			/	平澤 玲	専任
			/	舟木 優佳	専任
			/	田尻 佑喜	専任
		評価実習	/	山路 博文	専任
			/	大井 博司	専任
			/	小澤 恭子	専任
			/	國貞 将志	専任
			/	叢 麗	専任
			/	平澤 玲	専任
			/	舟木 優佳	専任
			/	田尻 佑喜	専任
		総合臨床実習	/	山路 博文	専任
			/	大井 博司	専任
			/	小澤 恭子	専任
			/	國貞 将志	専任
/	叢 麗		専任		
/	平澤 玲		専任		
/	舟木 優佳		専任		
/	田尻 佑喜		専任		

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
専門総合 分野	総合技術	卒業研究		大井 博司	専任
				小澤 恭子	専任
				山路 博文	専任
				國貞 将志	専任
				叢 麗	専任
				平澤 玲	専任
				舟木 優佳	専任
				田尻 佑喜	専任
		作業療法学演習Ⅰ	15	大井 博司	専任
			15	小澤 恭子	専任
			15	山路 博文	専任
			15	國貞 将志	専任
			15	叢 麗	専任
			15	平澤 玲	専任
			15	舟木 優佳	専任
			15	田尻 佑喜	専任
		作業療法学演習Ⅱ	15	山路 博文	専任
			15	大井 博司	専任
			15	小澤 恭子	専任
			15	國貞 将志	専任
			15	叢 麗	専任
			15	平澤 玲	専任
			15	舟木 優佳	専任
			15	田尻 佑喜	専任
		作業療法学演習Ⅲ	15	山路 博文	専任
			15	大井 博司	専任
			15	小澤 恭子	専任
			15	國貞 将志	専任
			15	叢 麗	専任
			15	平澤 玲	専任
			15	舟木 優佳	専任
			15	田尻 佑喜	専任

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
地域リハビリテーション実習 通所リハビリテーションの見学	1年前期	作業療法概論	2年後期
		作業学	2年後期
見学実習（病院、施設）	2年前期	作業療法評価学総論	3年後期
評価実習	3年後期	脳血管障害作業療法学	3年前期
		発達障害作業療法学	3年前期
		精神障害作業療法学	3年前期
総合臨床実習	4年 前期・後期	脳血管障害作業療法学演習	3年前期
		発達障害作業療法学演習	3年前期
		精神障害作業療法学演習	3年前期

【自己評価 3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	内部質保証委員会
委員名（委員長）	学長（委員長） 副学長 教育・学生支援機構長 事務局長 入試センター長 教育・学生支援部長 研究支援・社会連携センター長 その他必要に応じて学長が任命した者
組織の開催頻度	26回（2025年度）
組織の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・内部質保証の基本方針の策定および組織運営体制の構築 ・将来方針に基づいた計画・立案 ・教育、研究、社会貢献、大学運営等にかかる方針・計画内容の推進 ・教育、研究、社会貢献、大学運営等の点検・評価 ・点検・評価結果を踏まえた改善事項の提示および計画案への反映 ・その他委員会の目的達成のために必要な事項
自己点検・評価結果の公表	HPで公表 (URL : https://www.hirokoku-u.ac.jp/profile/disclosure/valuation/index.html)

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	シラバス作成にかかる第三者チェックの実施
	委員構成等	各学科長、大学院各専攻長、基盤教育センター長、教職主任
	改善の仕組みの実際	各授業担当者のシラバスを確認し、内容を精査する

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

本学では、令和6年度から自己評価委員会を自己点検・評価活動を含めた内部質保証活動全体を推進する内部質保証委員会に改組を行った。内部質保証委員会では、内部質保証を推進するため、内部質保証の基本方針および組織運営体制の策定に加え、将来方針に基づいた計画・立案、教育、研究、社会貢献、大学運営等にかかる方針・計画内容の推進および点検・評価、点検・評価結果を踏まえた改善事項の提示および計画案への反映その他重要な事項の審議を行っている。

令和4年度には、大学機関認証評価を受審し、「適合」との評価結果を得ている。
また、その他の第三者評価として、リハビリテーション教育評価機構の教育評価認定審査を定期的を受審しており、令和6年度に受審し「認定」の評価結果を得ている。